

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和5年1月号）

令和5年1月1日

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

12月11日（日）、駅南口電停脇「みんなの庭」の除草をしました。立冬（7日）過ぎにもかかわらず、日中の最高気温が17度、帽子で日差しを避けての作業でした（参加者8人）。

1月の活動日は15日（日）09:00～10:30です。ご参加歓迎、寒さ対策をしっかりなさってお越しください。（2月は19日の予定です）

.....

〇トピックス：

— 12月12日（月）、高知市みどり課を訪問、早春に牧野富太郎博士ゆかりの仙台屋桜を駅前に植える企画について話し合いました。

— 暮に駅周辺の冬景色を撮影しました（下の写真）。左端は南口電停脇「みんなの庭」のパンジー、中央は北口駐輪場のねむの木とイロハモミジ、右は北口ロータリーのケヤキです。



.....

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥

幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ： <http://mori-kochi-ekijimdo.com/>（バックナンバー掲載）

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 ナカタマサン 代表中田昌志」名義 普通 0709695



痛む山の自然、まちの自然

— 獣害の三嶺、人害の高知市 —

左の写真は枯死した三嶺の自然林。右は高知市江ノ口和泉公園の立木（12月13日撮影）



痛む山の自然

「木を植えましょう」と呼びかけると、「苦労せんでも、木なら山に何ぼでもあるじゃないの？」と茶化されたことがあります。はたしてそうか？ 実は、高知の山も放置や獣害で荒れてえらいことになっているのです。その代表例は、四国山地の東部、物部川源流部の三嶺・剣山系の森とササ原で、シカによる食害が環境・生態系を壊し、土砂流出や崩壊を招いています。

被害が顕著になった2007年に『三嶺の森をまもるみんなの会』が発足、地域住民や行政と連携して、緑の保護・再生活動（マット張り、植樹、防鹿柵設置、シカの管理捕獲など）を根気よく続けていますが、自然のバランスを取り戻す見通しは立っておりません。



写真左は防鹿柵設置作業、中央はマット張り、右は植樹（香美市の生徒のほか、高知商業高校生も参加）。

まちなかでは

高知城の「丸の内緑地」は、昨年始まったリニューアルが仕上げ段階です。百本以上の樹木を伐採・除去し、残りの木もバツサリ「剪定」して、目論見通りお城の天守がよく見える広場となりました（下の写真＝12月19日撮影）。さらに、「梅の段」でも防火施設工事のため15本以上の梅の木を伐りました（「お知らせ」令和4年5月号に詳報）。

次は公園です。1例ですが、江ノ口のひょうたん公園のほぼ真ん中に、「落葉が迷惑」という住民の訴えを受けて死罪（伐採）になった巨木の切り株が残っています（右下の写真）。「他の木も伐ってほしい」という声もあるとか。

人間側としてはそれぞれ合理的行動かもしれませんが、樹木の身になれば殺生です。



本コラムの三嶺に関する記述・写真は、『三嶺の森をまもるみんなの会』年報2022年3月刊によります。